

事業評価について

議題2

（この評価結果を踏まえ、「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」を作成し、北陸信越運輸局へ提出します。）

【平成27年度】陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）

補助対象事業者等	事業概要	昨年度に提案した改善点	前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点（特記事項を含む）	
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上市まちなか循環バス（小回り循環）	村上地域内	地域の利用者目線に立ったPR活動と観光情報やイベントの情報発信を継続的にを行い利便性の向上を図ります。	村上小学校、村上南小学校、瀬波小学校の3校で乗り方教室を実施。環境保全の重要性と公共交通の必要性を啓発した。特典として市内施設の無料券及び児童へのバス無料券を発行した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 計画に位置付けた目標 35 人/日 実績 43.1 人/日	地元利用者により親しみやすく乗車してもらうために車内環境の整備と、時刻表の配布促進等の情報発信に注力する。
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上市まちなか循環バス（大回り・小回り循環）	村上地域内						
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上～馬下～寒川線	村上～馬下～寒川	学割の効果と相まって利用者が伸びているので引き続きPRを務め、住民ニーズを踏まえた形で利便性の向上を図ります。	新規利用、認知度の上昇のために、学割のPRを兼ねた高校生アンケート・保護者アンケートを配布し、意向調査を行った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 計画に位置付けた目標 14 人/日 実績 15.3 人/日	学生支援を考慮に入れつつ、一般利用者誘客のため引き続きPRに努める。JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上市せなみ巡回バス	村上地域内	観光客にPRを行いつつ、地域住民の生活の足になるよう認知度を高め、利便性の向上を図ります。	村上小学校、村上南小学校、瀬波小学校の3校で乗り方教室を実施。環境保全の重要性と公共交通の必要性を啓発した。特典として市内施設の無料券及び児童へのバス無料券を発行した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 計画に位置付けた目標 10 人/日 実績 18.1 人/日	地域の認知度が上がってきているので、初めての人でも分かりやすいようなガイドの配布を行う等、引き続き啓発活動に力を入れる。
事業者名：新潟交通観光バス㈱ 運行系統名：村上～猿沢～北中線	村上～猿沢～北中	住民ニーズを踏まえ運行時刻の変更や、広報活動を行い、認知度を高めるとともに利便性の向上を図ります。	高校生アンケートを行い、学割のPRや意向調査を行った。結果報告の際に利用啓発の目的で利用ガイドを作成し配布した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 計画に位置付けた目標 25 人/日 実績 36.0 人/日	学生支援を考慮に入れつつ、一般利用者誘客のため引き続きPRに努める。JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。

各運行系統に共通する今後の対応：利用促進に向けた情報発信の充実やニーズの調査、検証を継続していきます。
利用者等の意見の反映：各種アンケート調査等において利用者や関係者の意見を聞き取りました。